道路附属物等の個別施設計画

（シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等）



2026年11月

中部地方整備局

目次

１．個別施設計画の背景と目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
（１）背景 ・・・ 1
（２）目的 ・・・ 1

２．管内の道路附属物等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（１）管内道路概要 ・・ 2
（２）計画の対象となる道路附属物等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

３．管内の道路附属物等点検の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

４．道路附属物等のメンテナンスサイクルの基本的な考え方 ・・・・・・・・・・・ 11

５．個別施設計画の基本方針 ・・ 12

６．個別施設計画 ・・ 14

７．管内の修繕等措置実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

８．具体的な補修事例 ・・ 19

※本資料については、2026.8道路メンテナンス年報を基に作成している

１．個別施設計画の背景と目的

(1)背　景

中部地方整備局が管理する道路附属物(シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等)については、建設後50年を越える施設が年々増加しており、高齢化が急速に進んでいます。
更に、コンクリート片の剥落などの事象が散見され、定期点検による確実な状態把握(早期発見)、点検結果に基づく確実な対策(早期補修)が必要となっています。

各道路附属物の施設数、建設後の平均経過年数、建設後５０年を超える割合

施設名	施設数（基）	建設後の平均経過年数（年）	建設後50年を超える割合(%)		
			現在	10年後	20年後
シェッド	214	41	13	60	91
大型カルバート	605	32	15	36	52
横断歩道橋	537	43	46	59	80
門型標識等	636	26	2	8	34



シェッド



大型カルバート



横断歩道橋



門型標識

(2)目　的

定期点検による道路附属物等の状態の把握、予防的な修繕を着実に進め、道路附属物等のライフサイクルコストの縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために個別施設計画を策定します。

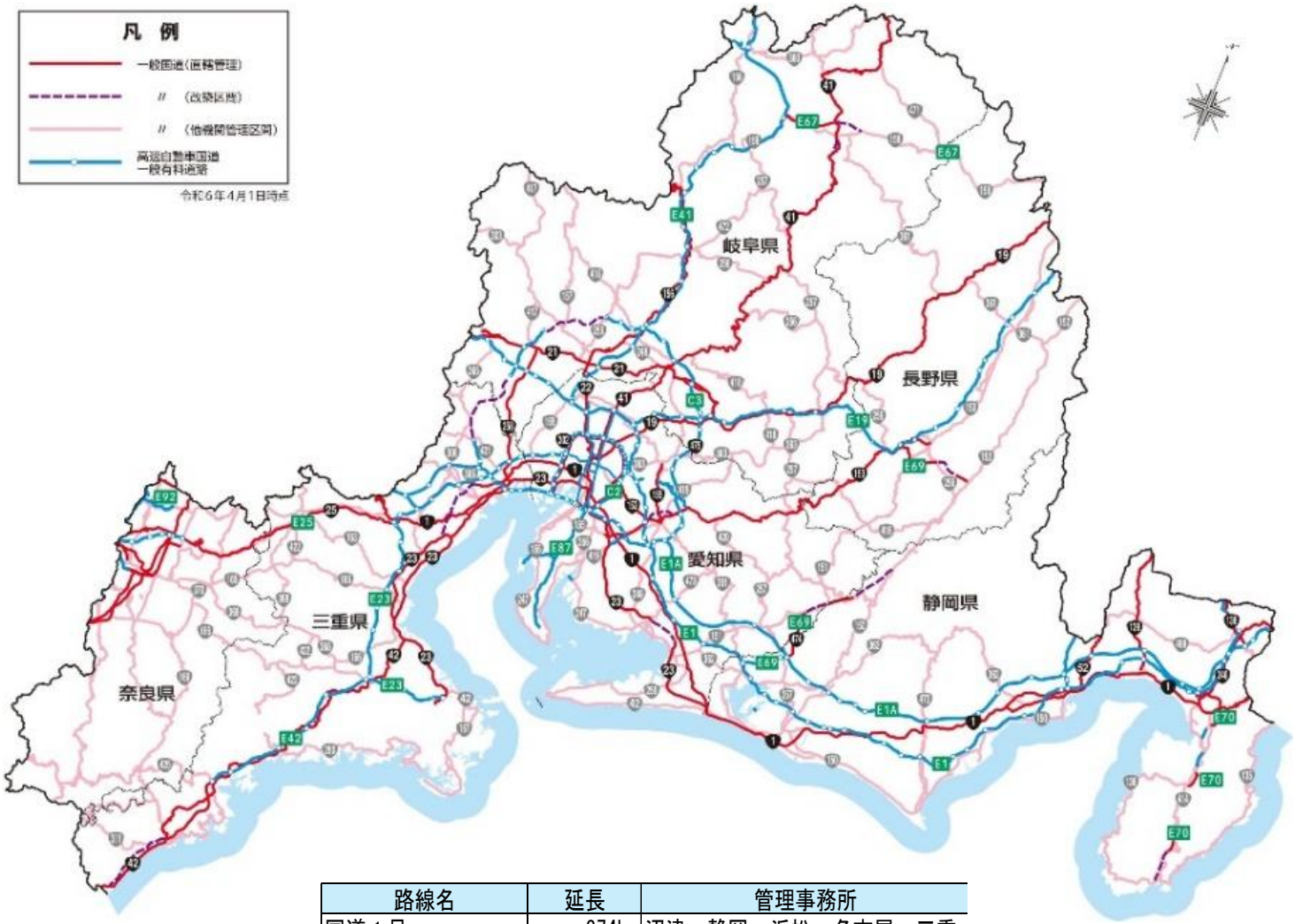
※個別施設計画：点検結果に基づき、必要な対策内容・実施時期等を定めた計画

2．管内の道路附属物等の状況

(1)管内道路概要

中部地方整備局では、一般国道等21路線（総延長1，887km）を管理しています。
（2026年4月現在）

中部地方整備局管内図



路線名	延長	管理事務所
国道１号	374km	沼津、静岡、浜松、名古屋、三重
国道１９号	179km	名古屋、多治見、飯田
国道２１号	98km	多治見、岐阜
国道２２号	28km	名古屋、岐阜
国道２３号	227km	名古屋、三重
国道２５号	58km	三重、北勢
国道４１号	212km	名古屋、岐阜、高山
国道４２号	168km	紀勢
国道５２号	19km	静岡
国道１３８号	17km	沼津
国道１３９号	37km	静岡
国道１５３号	124km	名古屋、飯田
国道１５５号	32km	名古屋
国道１５６号	75km	岐阜
国道１５８号	26km	岐阜、高山
国道２４６号	36km	沼津
国道２５８号	42km	三重、岐阜
国道３０２号	59km	名古屋
国道４１４号	9km	沼津
国道４７４号	48km	浜松、飯田
近畿自動車道紀勢線	21km	紀勢
合計	1887km	

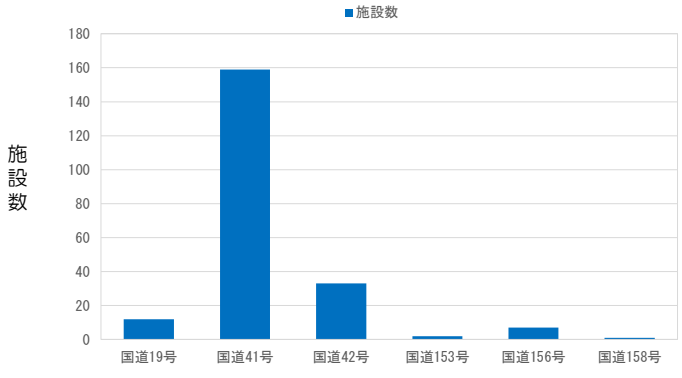
2. 管内の道路附属物等の状況

(2)計画の対象となる道路附属物等

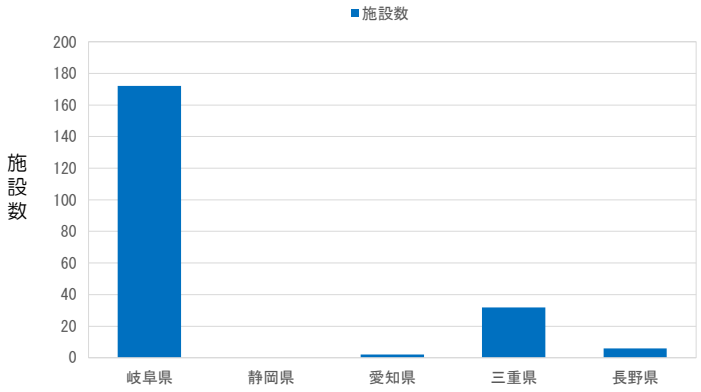
◆シェッド

中部地方整備局管内のシェッドは6路線に214施設が設置されています。(2026年3月末現在)
岐阜県に最も多く、172施設が設置されています。静岡県にはシェッドがありません。
路線毎では、国道41号が最も多く、159施設が設置されています。
冬期の安全確保等のため、山間部や積雪地域を通過する路線に多く設置されています。

中部地方整備局管内の路線別シェッド数

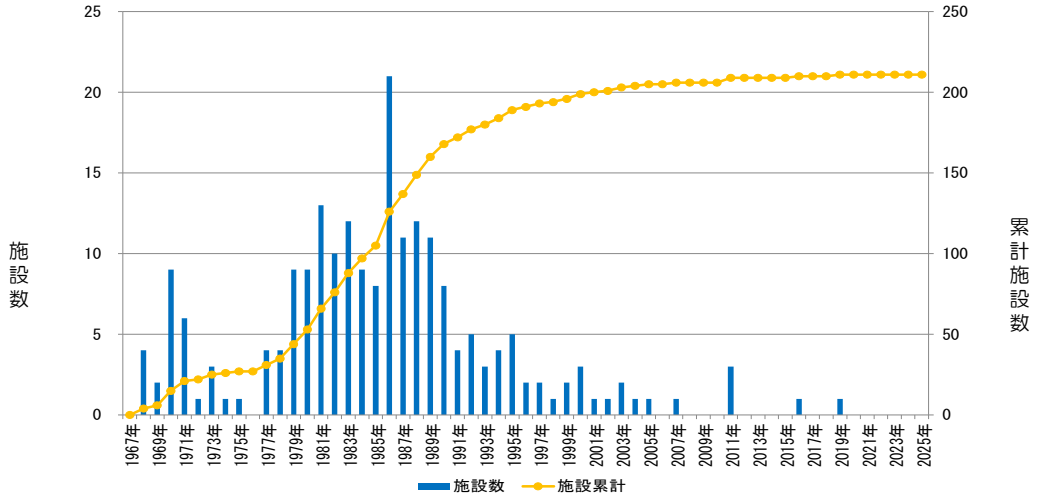


設置県別シェッド数

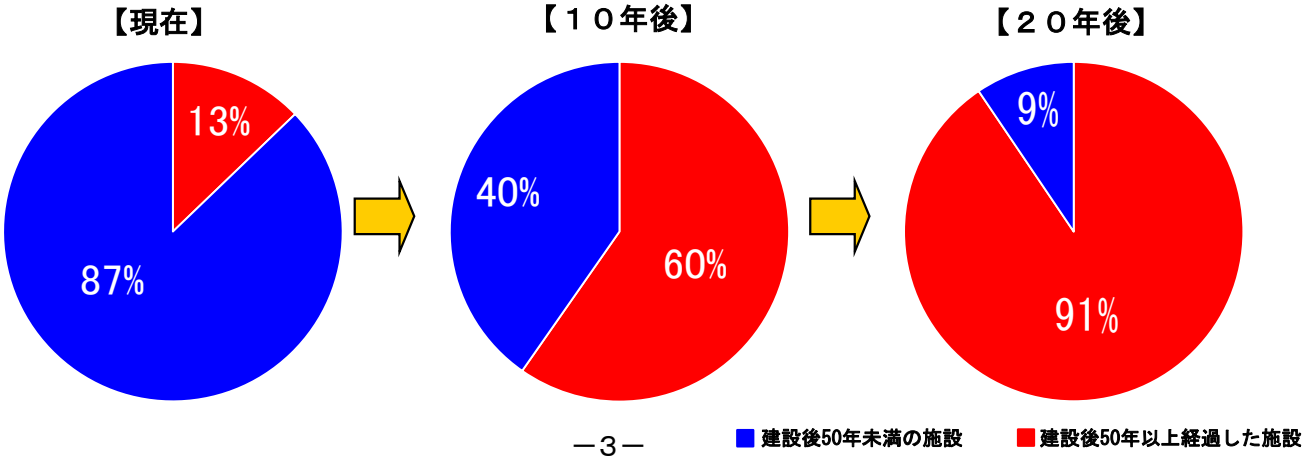


建設後の平均経過年数は約41年です。
現在、建設後50年を超えるシェッドは、27施設で全体の13%となっています。
建設後50年を超える施設は、10年後には60%(126施設)に、20年後には91%(191施設)となり、高齢化が急速に進む状況です。

建設年別のシェッド箇所数分布



建設後５０年以上のシェッド箇所数の推移



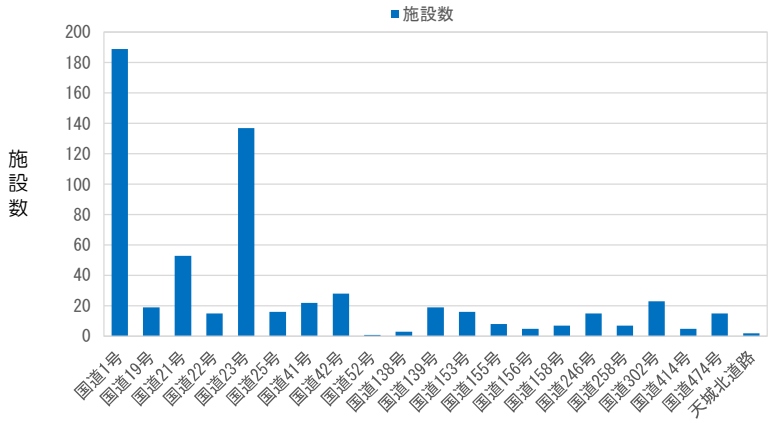
2．管内の道路附属物等の状況

(2)計画の対象となる道路附属物等

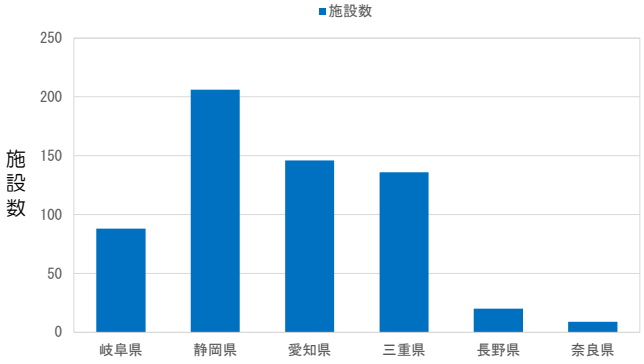
◆大型カルバート

中部地方整備局管内の大型カルバートは21路線に605施設が設置されています。
（2026年3月末現在）
愛知県と静岡県に多く、146施設（愛知県）、206施設（静岡県）が設置されています。
路線毎では、国道1号が最も多く、189施設が設置されています。
交差道路の多い都市部に多く設置されています。

中部地方整備局管内の路線別大型カルバート数

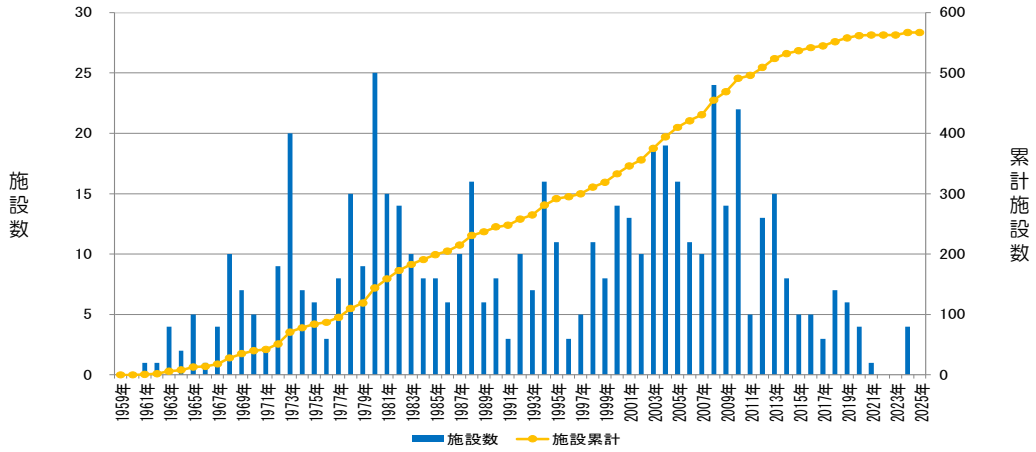


設置県別大型カルバート数

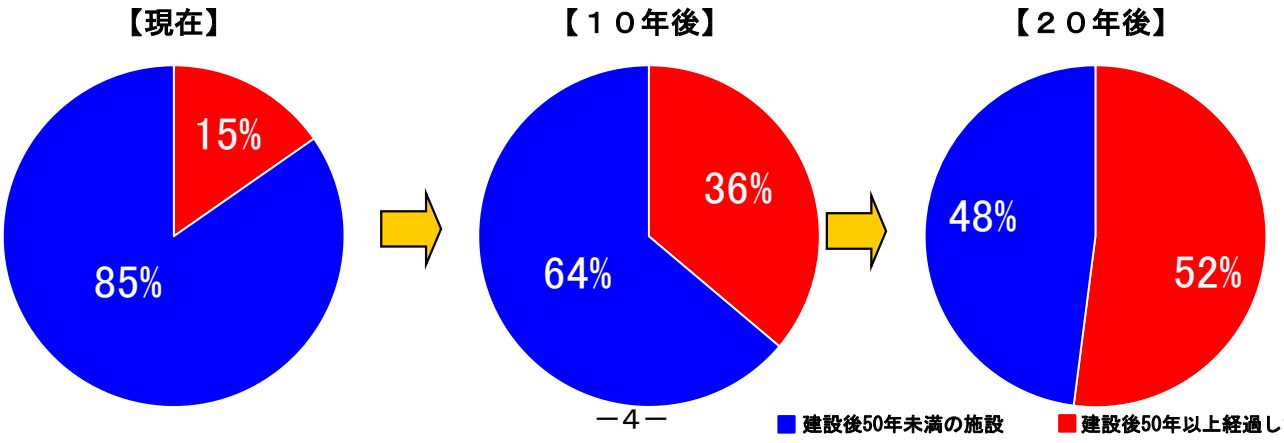


建設後の平均経過年数は約32年です。
現在、建設後50年を超える大型カルバートは、87施設で全体の15%となっています。
建設後50年を超える施設は、10年後には36%（205施設）に、20年後には52%（295施設）となり、高齢化が急速に進む状況です。

建設年別の大型カルバート箇所数分布



建設後５０年以上の大型カルバート箇所数の推移



2．管内の道路附属物等の状況

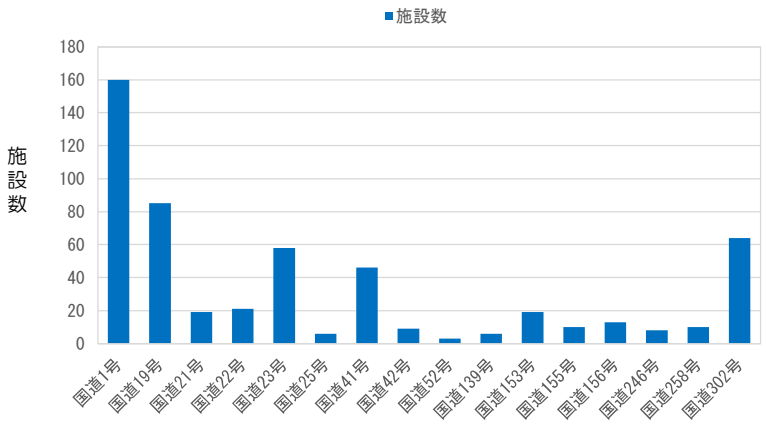
(2)計画の対象となる道路附属物等

◆横断歩道橋

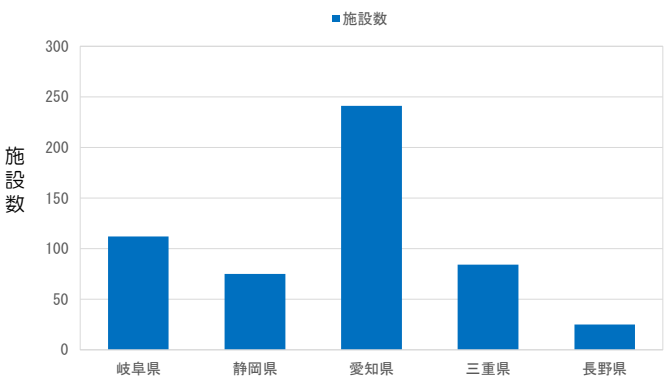
中部地方整備局管内の横断歩道橋は16路線に537橋が設置されています。
（2026年3月末現在）

愛知県に最も多く、241橋が設置してあり、他県の2倍以上となっています。
路線毎では、国道1号が最も多く、160橋が設置されています。
道路横断する歩行者の安全確保のため、都市部に多く設置されています。

中部地方整備局管内の路線別横断歩道橋数

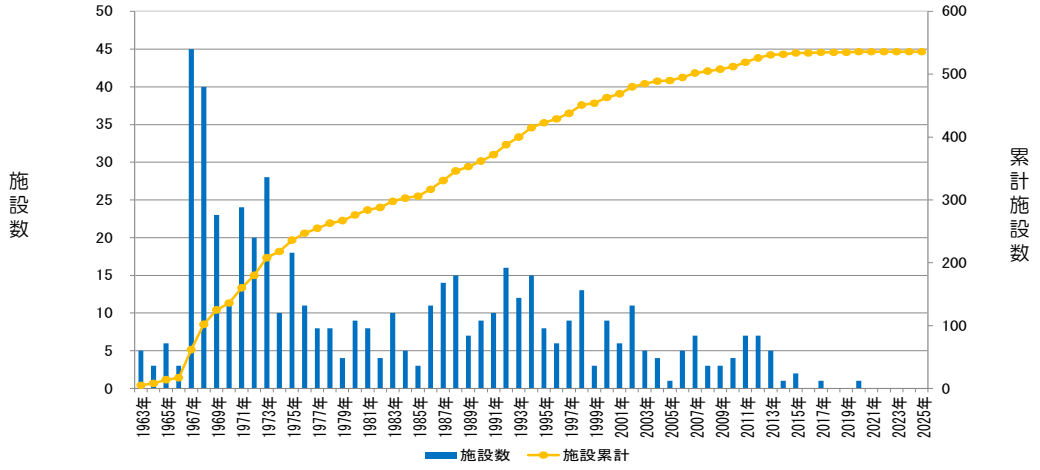


設置県別横断歩道橋数

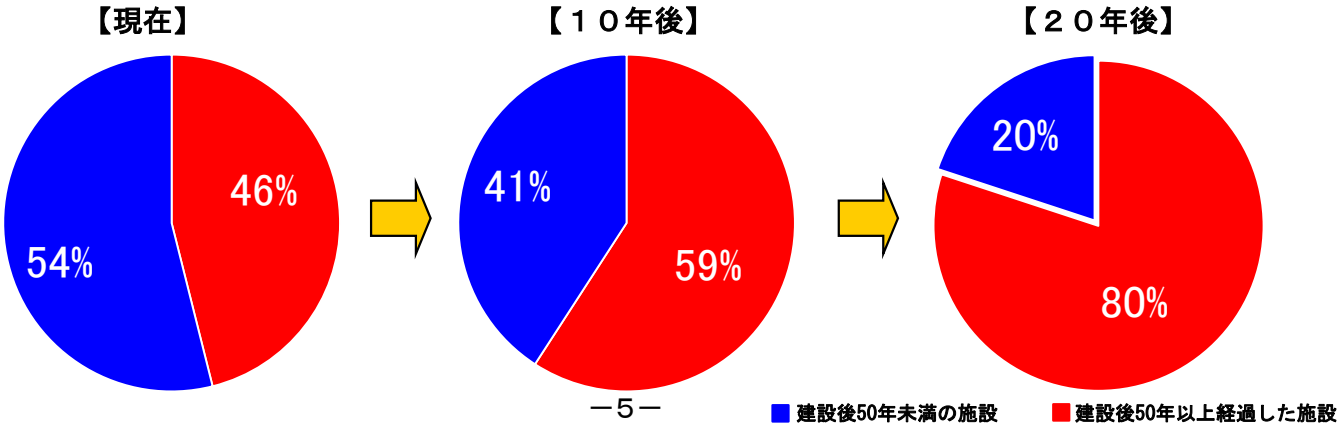


建設後の平均経過年数は約43年です。
現在、建設後50年を超える横断歩道橋は、247橋で全体の46%となっています。
建設後50年を超える施設は、10年後には59%（317橋）に、20年後には80%（429橋）となり、高齢化が急速に進む状況です。

建設年別の横断歩道橋箇所数分布



建設後５０年以上の横断歩道橋箇所数の推移



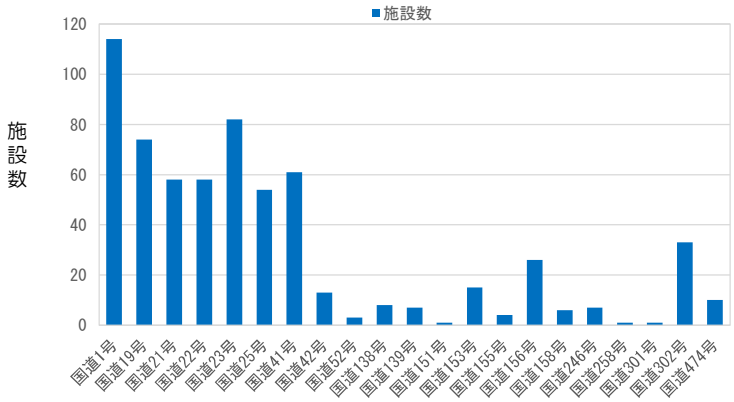
2．管内の道路附属物等の状況

(2)計画の対象となる道路附属物等

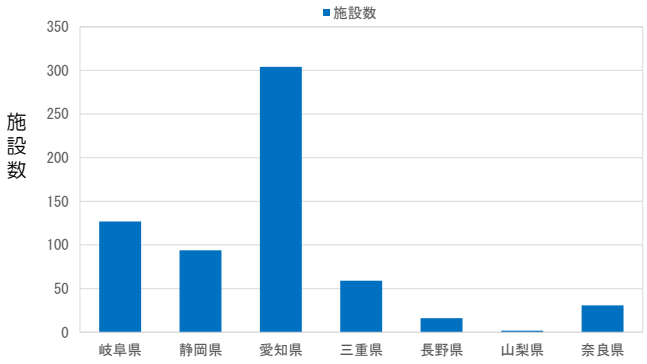
◆門型標識等

中部地方整備局管内の門型標識は21路線に636施設が設置されています。
（2026年3月末現在）
愛知県に最も多く、304施設が設置してあり、他県の2倍以上となっています。
路線毎では、国道1号が最も多く、114施設が設置されています。
広域的な道路情報等を提供することで円滑な交通を確保しています。

中部地方整備局管内の路線別門型標識等数

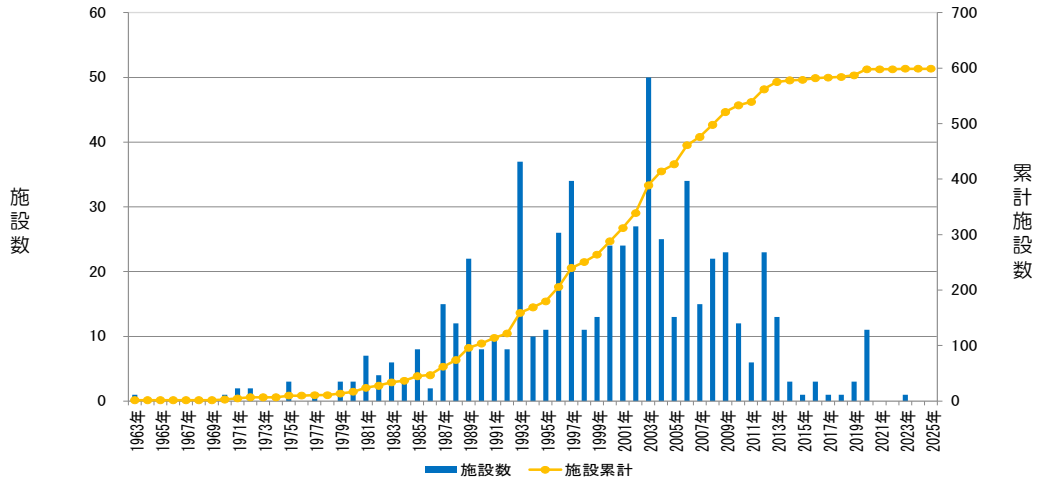


設置県別門型標識等数

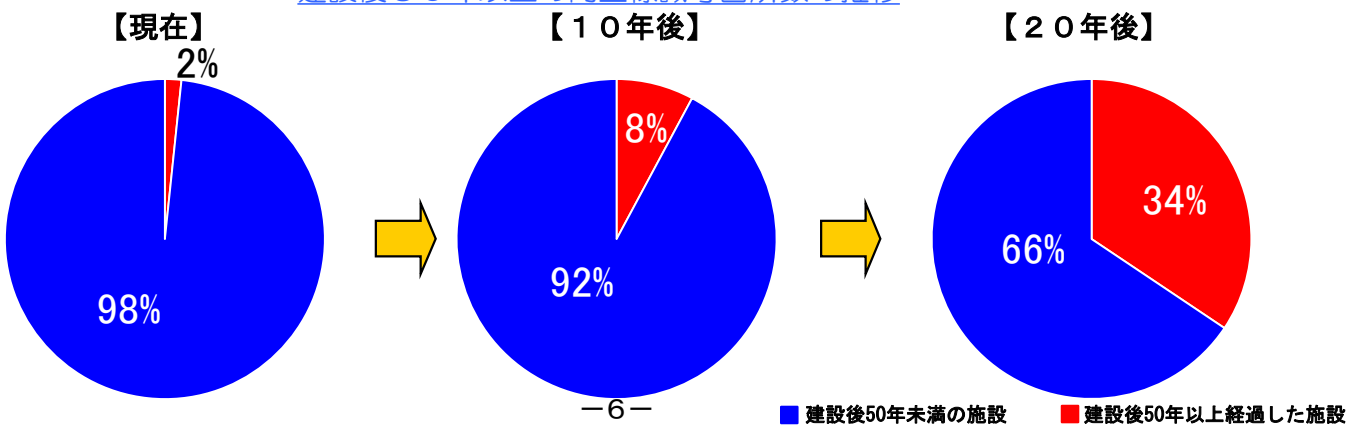


建設後の平均経過年数は約26年です。
現在、建設後50年を超える門型標識等は、10施設で全体の2%となっています。
建設後50年を超える施設は、10年後には8%（47施設）に、20年後には34%（206施設）となり、高齢化が徐々に進む状況です。

建設年別の門型標識等箇所数分布



建設後５０年以上の門型標識等箇所数の推移



3．管内の道路附属物等点検の状況

中部地方整備局管内の直轄国道の道路附属物等では、1日または2日に1回の頻度で道路パトロール車による定期巡回及び5年に1回の定期点検等（近接目視、打音及び触診）により、道路附属物等の健全性を確認しています。

道路附属物等の定期点検は、定期点検要領（シェッド、大型カルバート等定期点検要領（国土交通省　道路局国道・技術課　令和7年7月））等に基づき行い、結果については、4段階で区分します。

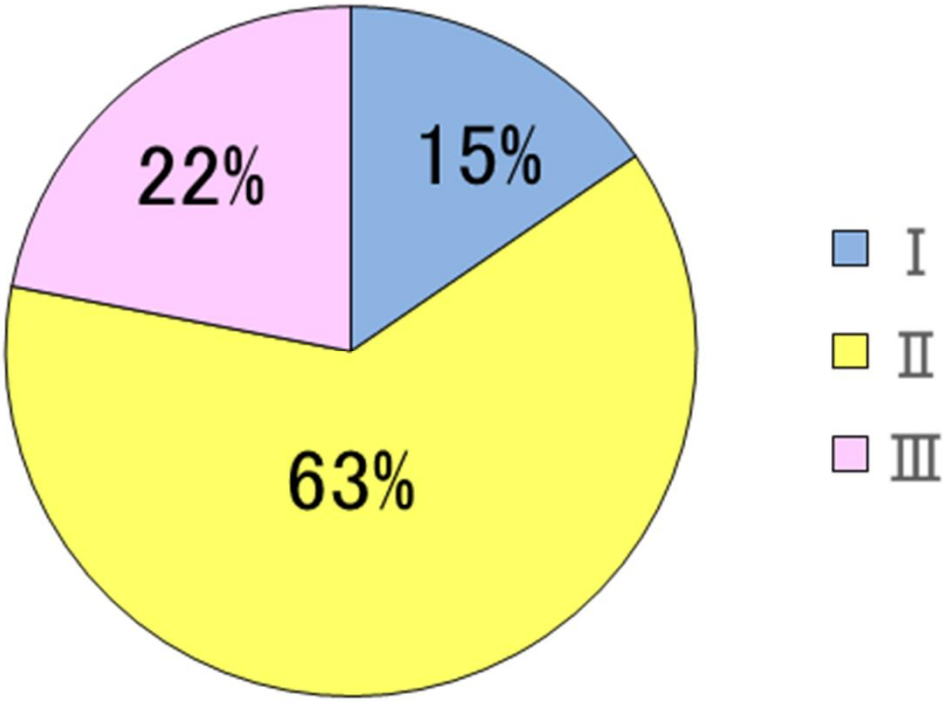
◆シェッド

中部地方整備局が管理するシェッド214施設について、2025年度までの最新の点検結果は、判定区分Ⅰ：33施設、Ⅱ：134施設、Ⅲ：47施設、Ⅳ：0施設となっています。

約2割のシェッドに早期の措置が必要な状況となっています。

また、健全度Ⅱ以上の損傷の種類としては、腐食が一番多く発生しています。

シェッドの健全性の診断の判定区分



対策区分と判定の内容

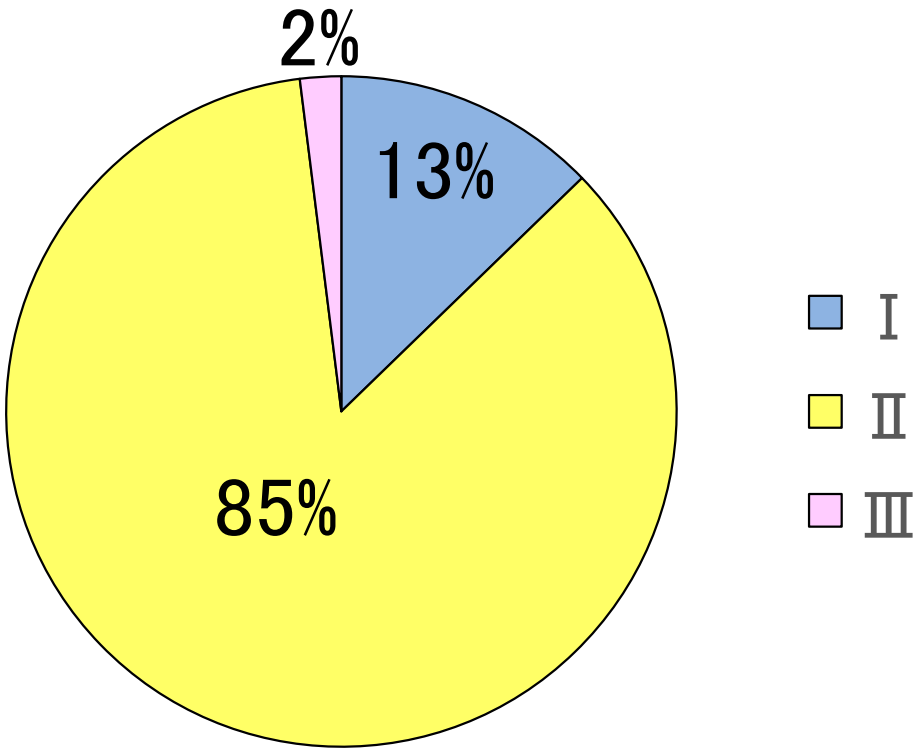
判定区分	判定の内容	
	区分	定義
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支承が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

3．管内の道路附属物等点検の状況

◆大型カルバート

中部地方整備局が管理する大型カルバート605施設について、2025年度までの最新の点検結果は、判定区分Ⅰ：77施設、Ⅱ：515施設、Ⅲ：12施設、Ⅳ：0施設となっています。
約2%の大型カルバートに早期の措置が必要な状況となっています。
また、健全度Ⅱ以上の損傷の種類としては、ひび割れが一番多く発生しています。

大型カルバートの健全性の診断の判定区分



対策区分と判定の内容

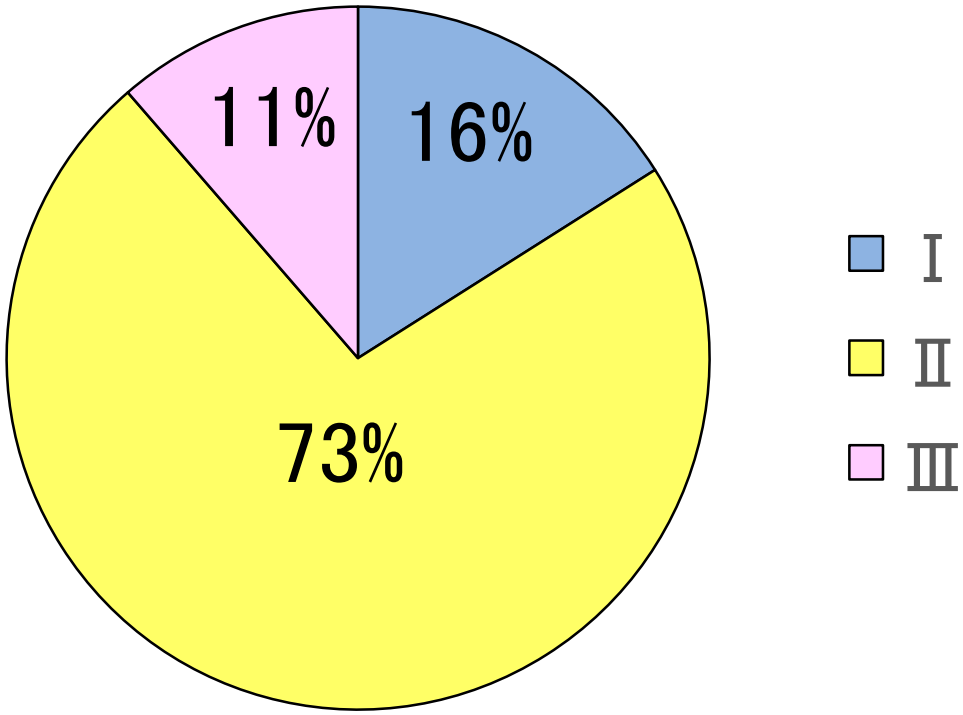
判定区分	判定の内容	
	区分	定義
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支承が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

3．管内の道路附属物等点検の状況

◆横断歩道橋

中部地方整備局が管理する横断歩道橋537橋について、2025年度までの最新の点検結果は、判定区分Ⅰ：86橋、Ⅱ：390橋、Ⅲ：61橋、Ⅳ：0橋となっています。
約1割の横断歩道橋に早期の措置が必要な状況となっています。
また、健全度Ⅱ以上の損傷の種類としては、腐食が一番多く発生しています。

横断歩道橋の健全性の診断の判定区分



対策区分と判定の内容

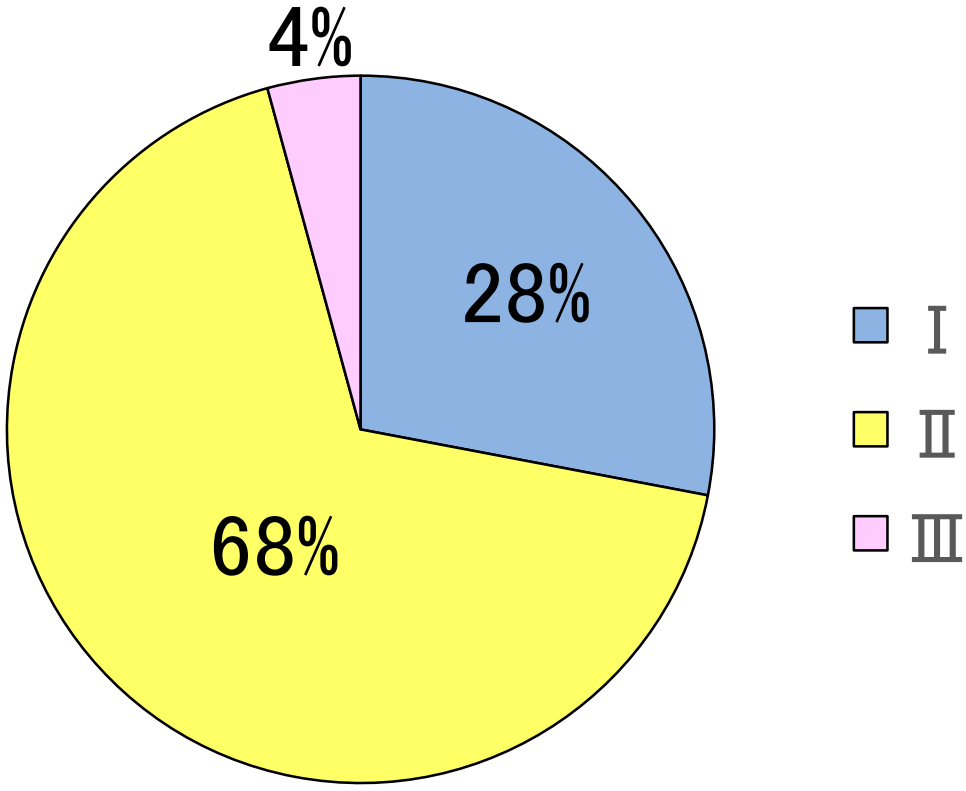
判定区分	判定の内容	
	区分	定義
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支承が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

3．管内の道路附属物等点検の状況

◆門型標識等

中部地方整備局が管理する門型標識等636施設について、2025年度までの最新の点検結果は、判定区分Ⅰ：178施設、Ⅱ：431施設、Ⅲ：27施設、Ⅳ：0施設となっています。
約4%の門型標識等に早期の措置が必要な状況となっています。
また、健全度Ⅱ以上の損傷の種類としては、腐食が一番多く発生しています。

門型標識等の健全性の診断の判定区分

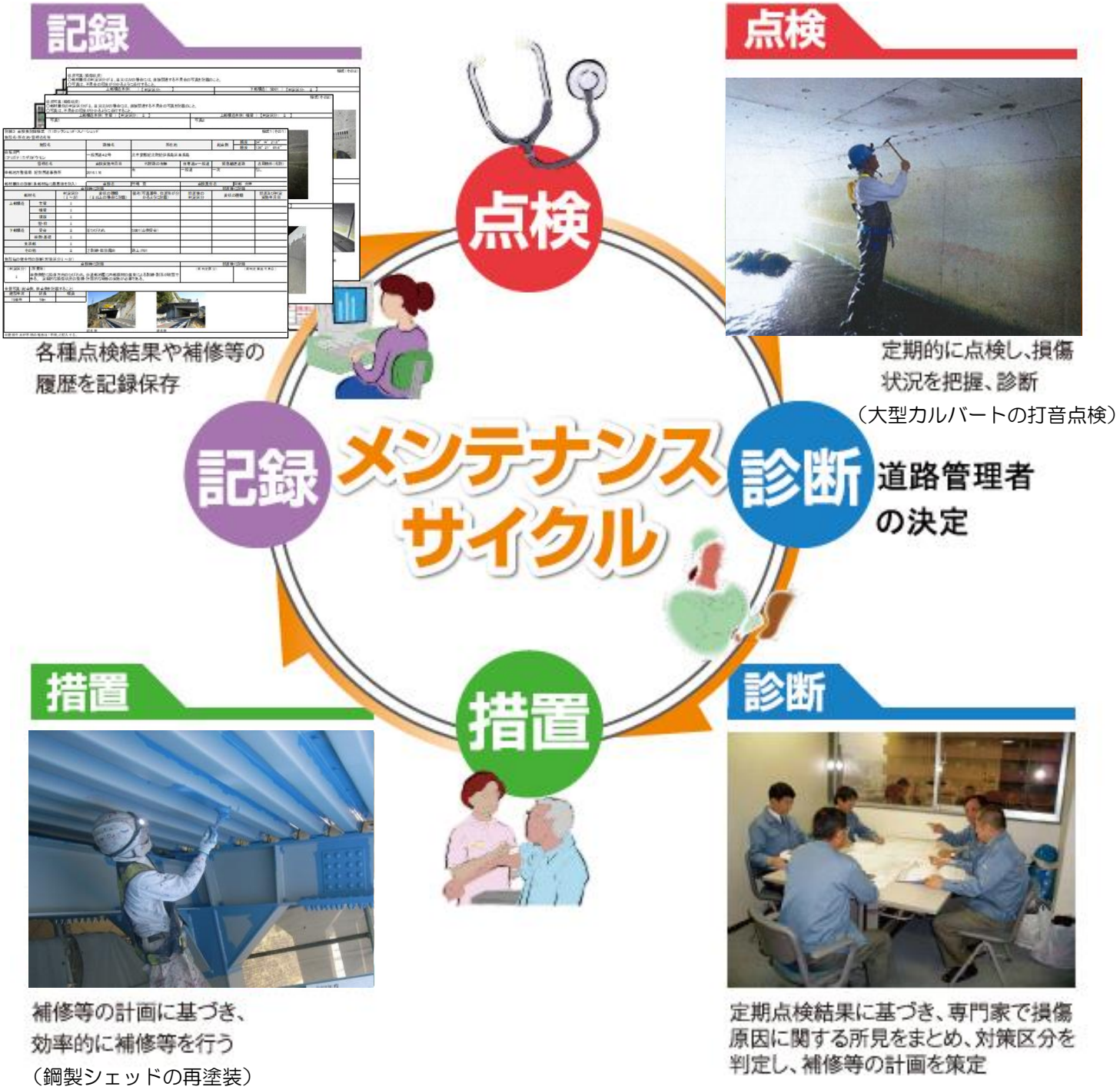


対策区分と判定の内容

判定区分	判定の内容	
	区分	定義
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支承が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

4．道路附属物等のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

点検は、維持管理を行う上での重要な第一歩です。
点検から始まる、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルを構築し持続的に推進してまいります。
今後さらに維持管理・更新費用の増加が見込まれることも踏まえ、メンテナンスサイクルの推進により効率的・効果的な維持管理を実施してまいります。



5．個別施設計画の基本方針

◆「個別施設計画」とは

①中部地方整備局管内の道路附属物等について個別施設計画を策定し、効率的・効果的な維持管理を実施することで、道路附属物等の長寿命化を図ります。

②個別施設計画は、令和7年度までに実施した道路附属物等定期点検結果の基礎データを基に、令和8年度から令和12年度までの計画として策定しています。ただし、定期点検により毎年新たに対策が必要な道路附属物等が発見されるため、個別施設計画は最新の点検結果に基づき 毎年度見直す必要があります。

判定区分		対策方針	メンテナンスサイクル						
			0	1	2	3	4	5年後	以降
Ⅳ	緊急措置段階	ただちに応急対策 次回点検までに本対策	点検 応急対策	本対策				点検	
Ⅲ	早期措置段階	次回点検までに本対策	点検			本対策 次回点検までに対策		点検	
Ⅱ	予防保全段階	予防保全の観点から補修	点検			予防保全対策 必要に応じて計画的に対策		点検	
Ⅰ	健全	補修の必要なし	点検					点検	

5. 個別施設計画の基本方針

◆優先順位の考え方

①点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう必要な措置を講じます。

②対策の優先順位は、損傷程度や損傷位置からみる施設の健全性、迂回の可否または難易からみるネットワークの重要性、緊急輸送道路の指定状況等から総合的に判断します。

対策の優先順位

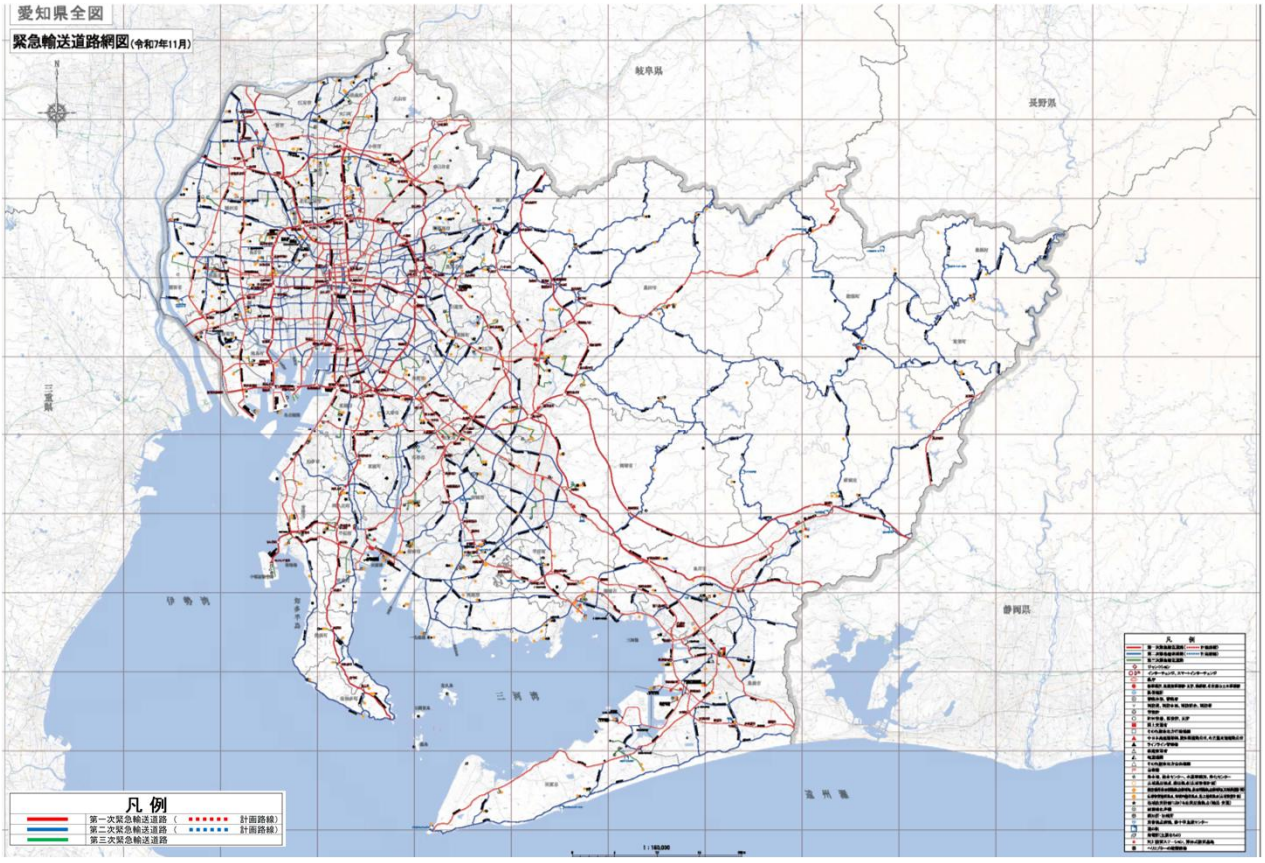
高

優先順位

低

施設名	路線名	健全性	ネットワークの重要性
○○カルバート	国道○号	×	高
▲▲横断歩道橋	国道▲号	△	高
◇◇門型標識	国道◇号	△	低
●●シェッド	国道●号	○	高
△△カルバート	国道△号	○	低
・・・	・・・	・・・	・・・

※『健全性』は、損傷程度（判定区分）や損傷位置（第3者への影響）の観点から設定
※『ネットワークの重要性』は迂回の可否・難易で設定



※愛知県HPより

例　愛知県の緊急輸送道路網図（R7．11）

6. 個別施設計画

・基本方針に基づき、個別施設計画を作成し、計画的に対策を実施します。
・毎年度、新たな点検結果と対策の実施状況を踏まえ適宜、計画のフォローアップを行います。

令和8年10月末時点

○シェッド

凡例（○点検・修繕着手 ◎完了 ×撤去 △移管）

管理事務所名	シェッド名	路線名	完成年度	延長(m)	幅員(m)	所在地		点検実施年度	判定区分	修繕内容(予定も含む)（架替・撤去）	R8年度(2026年度)		R9年度(2027年度)		R10年度(2028年度)		R11年度(2029年度)		R12年度(2030年度)		備考
						都道府県名	市区町村名				点検	修繕	点検	修繕	点検	修繕	点検	修繕	点検	修繕	
多治見砂防国道事務所	春生落石シェッド	国道19号	1980	148.1	4.1	岐阜県	中津川市	2021	II		○										
多治見砂防国道事務所	春生1号イ型シェッド	国道19号	1988	45.0	4.4	岐阜県	中津川市	2021	II		○										
多治見砂防国道事務所	春生2号イ型シェッド	国道19号	1980	69.0	3.7	岐阜県	中津川市	2022	III	ひび割れ補修、笹座モルタル補修、塗装			○	○							
多治見砂防国道事務所	春生3号イ型シェッド	国道19号	1988	48.0	3.7	岐阜県	中津川市	2022	III	ひび割れ補修、背座モルタル補修、塗装			○	○							
多治見砂防国道事務所	春生洞門	国道19号	1988	180.0	8.0	岐阜県	中津川市	2023	II						○						
多治見砂防国道事務所	春生イ型シェッド	国道19号	1988	50.0	3.7	岐阜県	中津川市	2023	II						○						
岐阜国道事務所	七宗洞門	国道41号	1978	166.5	9.5	岐阜県	加茂郡七宗町	2024	II								○				
岐阜国道事務所	椿ヶ野洞門	国道41号(現道)	1983	36.8	9.5	岐阜県	加茂郡七宗町	2024	II								○				
岐阜国道事務所	広島南洞門	国道41号	1983	80.0	9.5	岐阜県	加茂郡白川町	2024	II								○				
岐阜国道事務所	広島洞門	国道41号	1987	126.5	8.5	岐阜県	加茂郡白川町	2024	II								○				
岐阜国道事務所	根村洞門	国道156号	1973	100.0	7.0	岐阜県	郡上市	2022	II				○								
岐阜国道事務所	油井洞門	国道41号	1980	26.8	10.5	岐阜県	加茂郡白川町	2025	II										○		
岐阜国道事務所	村君1号洞門	国道41号	1995	130.0	10.5	岐阜県	加茂郡白川町	2025	II										○		
岐阜国道事務所	村君2号洞門	国道41号	1992	190.0	10.3	岐阜県	加茂郡白川町	2025	II										○		
岐阜国道事務所	三日市洞門	国道156号	1972	35.0	8.5	岐阜県	郡上市	2022	II				○								
岐阜国道事務所	奥谷洞門	国道156号	1983	108.8	8.5	岐阜県	郡上市	2022	II				○								
岐阜国道事務所	吉野洞門	国道156号	1994	148.0	10.5	岐阜県	郡上市	2021	II		○										
岐阜国道事務所	桧成洞門	国道156号	1983	206.0	10.5	岐阜県	郡上市	2021	II		○										
岐阜国道事務所	桧成北洞門	国道156号	2000	98.0	12.3	岐阜県	郡上市	2021	II		○										
岐阜国道事務所	大和歩道洞門	国道156号	1981	381.2	2.8	岐阜県	郡上市	2023	II						○						
岐阜国道事務所	油坂スノーシェッド	国道156号	1991	140.0	13.5	岐阜県	郡上市	2023	II						○						
高山国道事務所	地蔵野洞門(1)	国道41号	1988	56.7	6.8	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	地蔵野洞門(2)	国道41号	1989	158.0	10.7	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	地蔵野洞門(3)	国道41号	2003	90.0	11.2	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	中切洞門(2)	国道41号	2003	110.0	12.1	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	中切洞門(1)	国道41号	2000	180.0	12.1	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	三ツ渕洞門	国道41号	1989	586.7	10.7	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	門原洞門型シェッド	国道41号	1972	51.0	14.8	岐阜県	下呂市	2025	II										○		
高山国道事務所	門原洞門	国道41号	1980	112.5	10.7	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	釣洞洞門	国道41号	1981	318.5	10.7	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	五上田洞門	国道41号	1980	288.5	10.7	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	南田第洞門-1-2	国道41号	1986	60.0	10.0	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	南田第洞門-1-1	国道41号	1984	60.0	10.0	岐阜県	下呂市	2023	II						○						
高山国道事務所	木賊洞洞門-1-2	国道41号	1988	100.0	10.0	岐阜県	高山市	2023	II						○						
高山国道事務所	木賊洞洞門-1-3	国道41号	1988	123.0	10.0	岐阜県	高山市	2023	II						○						
高山国道事務所	木賊洞洞門-1-1	国道41号	1985	70.0	10.0	岐阜県	高山市	2023	II						○						
高山国道事務所	船津洞門-1-3	国道41号	1989	100.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2023	II						○						
高山国道事務所	船津洞門-1-1	国道41号	1984	75.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2023	II						○						
高山国道事務所	船津洞門-1-2	国道41号	1984	50.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2023	II						○						
高山国道事務所	木地屋洞門－1－6	国道41号	2011	30.0	9.2	岐阜県	飛騨市	2024	I								○				
高山国道事務所	木地屋洞門－1－1	国道41号	1975	72.0	12.7	岐阜県	飛騨市	2024	II								○				
高山国道事務所	木地屋洞門－1－3	国道41号	1978	67.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2024	II								○				
高山国道事務所	木地屋洞門－1－2	国道41号	1977	90.0	12.7	岐阜県	飛騨市	2024	II								○				
高山国道事務所	木地屋洞門－1－4	国道41号	1978	50.0	14.7	岐阜県	飛騨市	2024	II								○				
高山国道事務所	木地屋洞門－1－5	国道41号	1982	20.0	12.2	岐阜県	飛騨市	2024	II								○				
高山国道事務所	S－3門型58	国道41号	1983	9.0	15.7	岐阜県	飛騨市	2024	III	アンカーボルト復旧、塗装塗替						◎	○			
高山国道事務所	S－3門型59	国道41号	1984	12.0	15.7	岐阜県	飛騨市	2024	III	アンカーボルト復旧、塗装塗替						◎	○			
高山国道事務所	S－3門型60	国道41号	1985	24.0	15.7	岐阜県	飛騨市	2024	III	アンカーボルト復旧、塗装塗替						◎	○			
高山国道事務所	S－3門型61	国道41号	1988	16.0	15.7	岐阜県	飛騨市	2024	III	アンカーボルト復旧、塗装塗替						◎	○			
高山国道事務所	S－4門型4	国道41号	1992	12.0	10.8	岐阜県	飛騨市	2021	I		○										
高山国道事務所	S－4門型56	国道41号	1991	8.0	10.9	岐阜県	飛騨市	2021	I		○										
高山国道事務所	S－4方杖45	国道41号	1970	24.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2021	II		○										
高山国道事務所	S－4方杖56	国道41号	1981	8.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2021	I		○										
高山国道事務所	S－4門型58	国道41号	1983	58.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2021	I		○										
高山国道事務所	S－5方杖43	国道41号	1968	37.1	10.0	岐阜県	飛騨市	2021	II		○										
高山国道事務所	S－5方杖61	国道41号	1988	51.7	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III	ひび割れ補修工、断面修復工、モルタル補修工、現場塗装工	○										R4修繕完了
高山国道事務所	S－6門型55_1	国道41号	1980	8.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R4修繕完了
高山国道事務所	S－6門型45	国道41号	1970	12.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R4修繕完了
高山国道事務所	S－6門型55_2	国道41号	1980	15.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R5修繕完了
高山国道事務所	S－7門型45	国道41号	1970	12.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R5修繕完了
高山国道事務所	S－7方杖46	国道41号	1971	12.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R4修繕完了
高山国道事務所	S－7門型46	国道41号	1971	8.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R4修繕完了
高山国道事務所	S－7方杖43	国道41号	1968	30.8	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R5修繕完了
高山国道事務所	S－7方杖56	国道41号	1980	14.8	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R5修繕完了
高山国道事務所	S－8門型45	国道41号	1970	16.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R5修繕完了
高山国道事務所	S－8門型56	国道41号	1981	54.3	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R4修繕完了
高山国道事務所	大垣中洞門－1	国道41号	1991	20.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2021	II		○										
高山国道事務所	S－10門型43	国道41号	1968	20.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R4修繕完了
高山国道事務所	S－10門型64	国道41号	1978	8.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III	断巻コンクリート、モルタル補修、塗装塗替、支柱基部リブ・アンカーボルト復旧、附帯部護岸表面保護	○										R4修繕完了
高山国道事務所	S－9門型61	国道41号	1988	27.4	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	III		○										R4修繕完了
高山国道事務所	S－10門型59	国道41号	1984	39.5	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	I		○										
高山国道事務所	大垣中洞門－2－2	国道41号	1994	27.9	10.0	岐阜県	飛騨市	2021	II		○										
高山国道事務所	大垣中洞門－2－1	国道41号	1992	28.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2021	II		○										
高山国道事務所	S－12門型60	国道41号	1983	50.8	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	I		○										
高山国道事務所	S－13門型63	国道41号	1988	24.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	I		○										
高山国道事務所	S－13門型21PC	国道41号	2011	30.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2021	I		○										
高山国道事務所	二ツ屋洞門－1－3	国道41号	1990	49.4	10.2	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	二ツ屋洞門－1－1	国道41号	1982	36.0	12.5	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	二ツ屋洞門－1－2	国道41号	1984	17.4	12.5	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	S－15門型53	国道41号	1978	12.0	12.8	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	S－15門型44	国道41号	1968	24.0	12.8	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	S－15門型49	国道41号	1973	20.0	15.9	岐阜県	飛騨市	2025	I										○		
高山国道事務所	東漆山洞門－1	国道41号	1988	76.1	12.5	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	S－16門型64	国道41号	1978	8.0	15.1	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	S－16門型46	国道41号	1971	20.0	15.1	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	S－16門型54	国道41号	1978	8.0	15.1	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	S－16門型61	国道41号	1988	21.5	15.1	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	S－16方杖52	国道41号	1977	20.0	12.7	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	S－16門型61	国道41号	1988	12.0	14.3	岐阜県	飛騨市	2025	II										○		
高山国道事務所	S-18-1方杖63	国道41号	1987	60.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2023	III						○	○					
高山国道事務所	S-17 方杖45	国道41号	1970	36.0	8.0	岐阜県	飛騨市	2022	III				○	○							
高山国道事務所	S-17 方杖46	国道41号	1971	8.0	8.0	岐阜県	飛騨市	2022	III				○	○							
高山国道事務所	東漆山洞門-2	国道41号	1985	51.8	10.0	岐阜県	飛騨市	2022	II				○								
高山国道事務所	S-18 門型63	国道41号	1988	48.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2022	III				○	○							
高山国道事務所	S-18 門型54	国道41号	1978	4.0	8.0	岐阜県	飛騨市	2022	III	主梁あて板、支柱基部リブ・アンカーボルト復旧、塗装塗替			○	○							
高山国道事務所	S-18 門型64	国道41号	1978	12.0	8.0	岐阜県	飛騨市	2022	III	頂版支持アングル設置、支柱基部リブ・アンカーボルト復旧、塗装塗替、モルタル補修			○	○							
高山国道事務所	東漆山洞門-3-1	国道41号	1986	25.8	10.0	岐阜県	飛騨市	2022	II				○								
高山国道事務所	東漆山洞門-3-2	国道41号	1993	32.9	10.0	岐阜県	飛騨市	2022	II				○								
高山国道事務所	東漆山洞門-4	国道41号(現道)	1987	75.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2022	II				○								
高山国道事務所	東漆山洞門-3-6	国道41号	2002	37.5	10.3	岐阜県	飛騨市	2023	II						○						
高山国道事務所	東漆山洞門-3-5	国道41号	2001	50.0	10.3	岐阜県	飛騨市	2023	II						○						
高山国道事務所	東漆山洞門-3-4	国道41号	2000	37.5	10.3	岐阜県	飛騨市	2023	II						○						
高山国道事務所	東漆山洞門-3-3	国道41号	1983	82.8	10.0	岐阜県	飛騨市	2023	II						○						
高山国道事務所	東漆山洞門-3-2	国道41号	1982	84.8	10.0	岐阜県	飛騨市	2023	II						○						
高山国道事務所	東漆山洞門-3-1	国道41号	1981	120.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2023	II						○						
高山国道事務所	S-13-2門型63	国道41号	1987	20.0	10.2	岐阜県	飛騨市	2023	III	アンカーボルト復旧、塗装塗替、頂版防水、断面修復、モルタル補修				○		○				
高山国道事務所	東漆山洞門-6	国道41号	1992	60.0	10.0	岐阜県	飛騨市	2023	II						○						

※ 個別施設計画リスト（全道路附属物分）は、別添資料に掲載

7．管内の修繕等措置実施状況

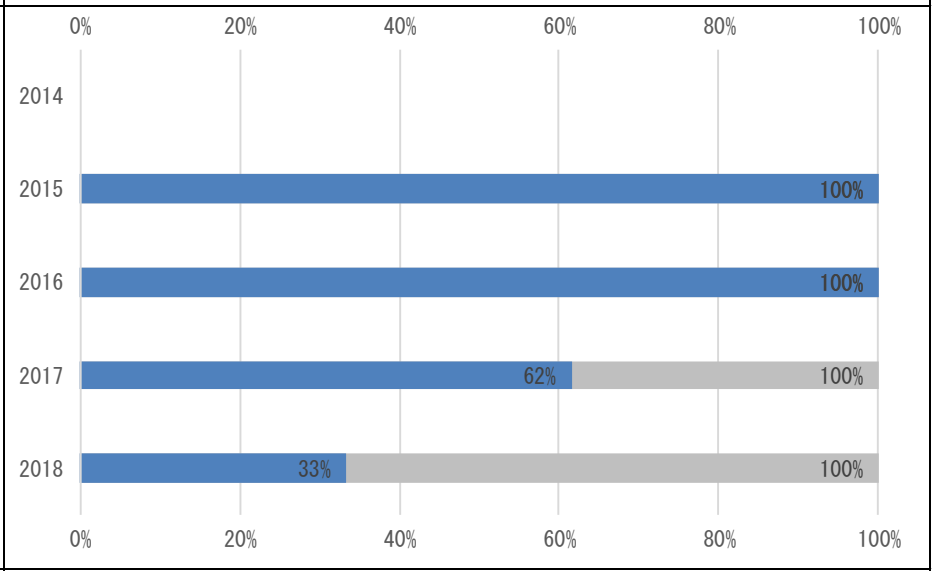
◆管内道路附属物等の修繕等措置実施状況

◆シェッド

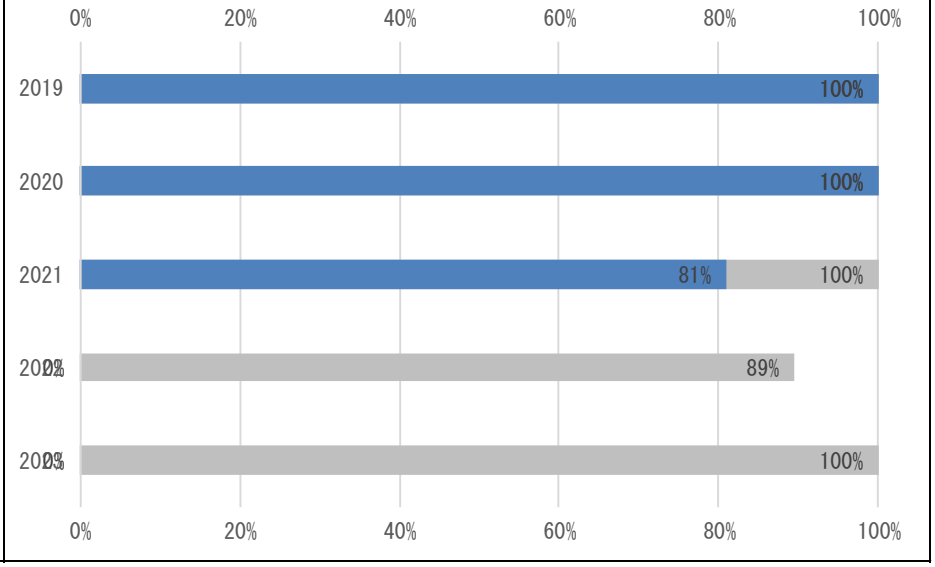
1巡目（2014年度～2018年度）の点検で早期に措置を講ずべき状態（Ⅲ判定）と判定されたシェッドのうち、2025年度末時点で修繕等の措置に着手した割合は100%、措置が完了した割合は85%です。

2巡目（2019年度～2023年度）の点検で早期に措置を講ずべき状態（Ⅲ判定）と判定されたシェッドのうち、2025年度末時点で修繕等の措置に着手した割合は96%、措置が完了した割合は48%です。

○1巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

対象施設数 A	着手済み施設数 B	完了済み施設数 C	措置状況
81	81 （ 100% ）	69 （ 85% ）	

○2巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

対象施設数	着手済み施設数	完了済み施設数	措置状況
56	54 （ 96% ）	30 （ 54% ）	

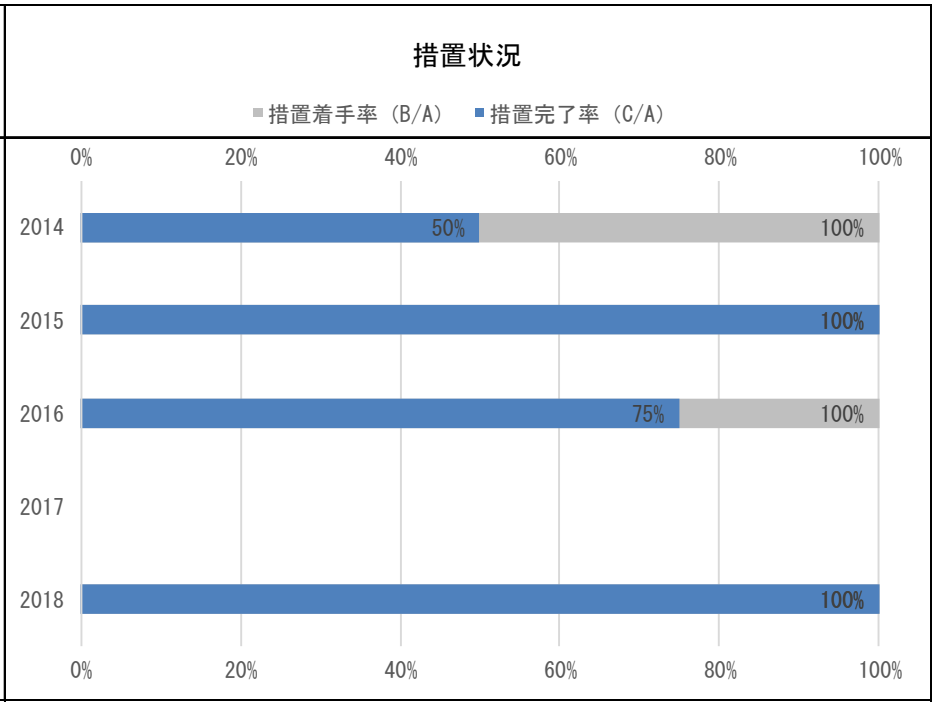
7．管内の修繕等措置実施状況

◆管内道路附属物等の修繕等措置実施状況

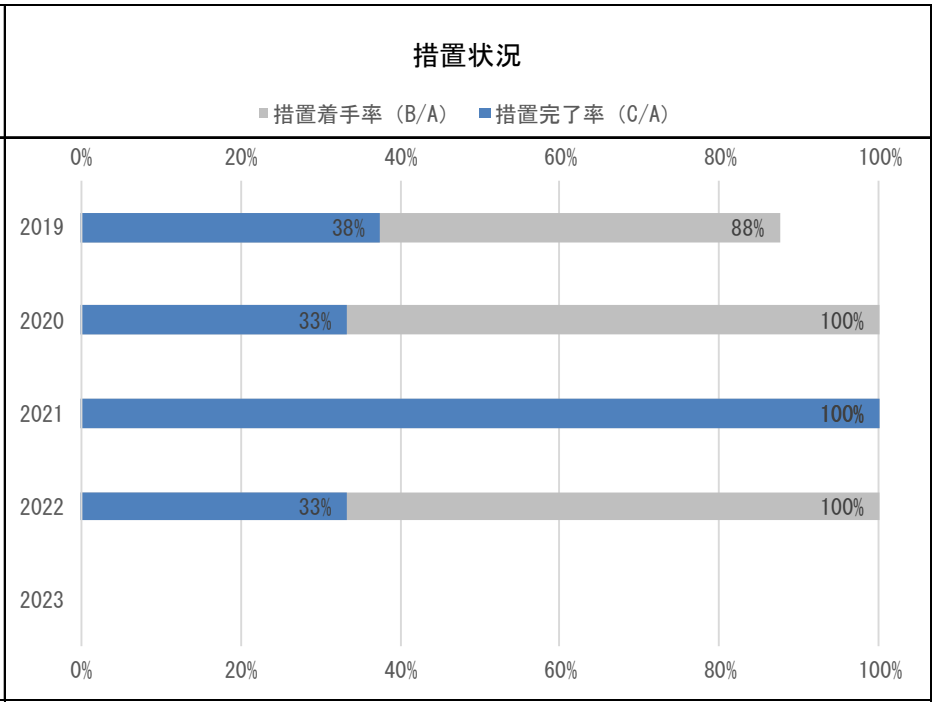
◆大型カルバート

1巡目（2014年度～2018年度）の点検で早期に措置を講ずべき状態（Ⅲ判定）と判定された大型カルバートのうち、2025年度末時点で修繕等の措置に着手した割合は100%、措置が完了した割合は83%です。
2巡目（2019年度～2023年度）の点検で早期に措置を講ずべき状態（Ⅲ判定）と判定された大型カルバートのうち、2025年度末時点で修繕等の措置に着手した割合は88%、措置が完了した割合は38%です。

○1巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

対象施設数 A	着手済み施設数 B	完了済み施設数 C	措置状況
12	12 （ 100% ）	10 （ 83% ）	

○2巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

対象施設数	着手済み施設数	完了済み施設数	措置状況
16	14 （ 88% ）	6 （ 38% ）	

7．管内の修繕等措置実施状況

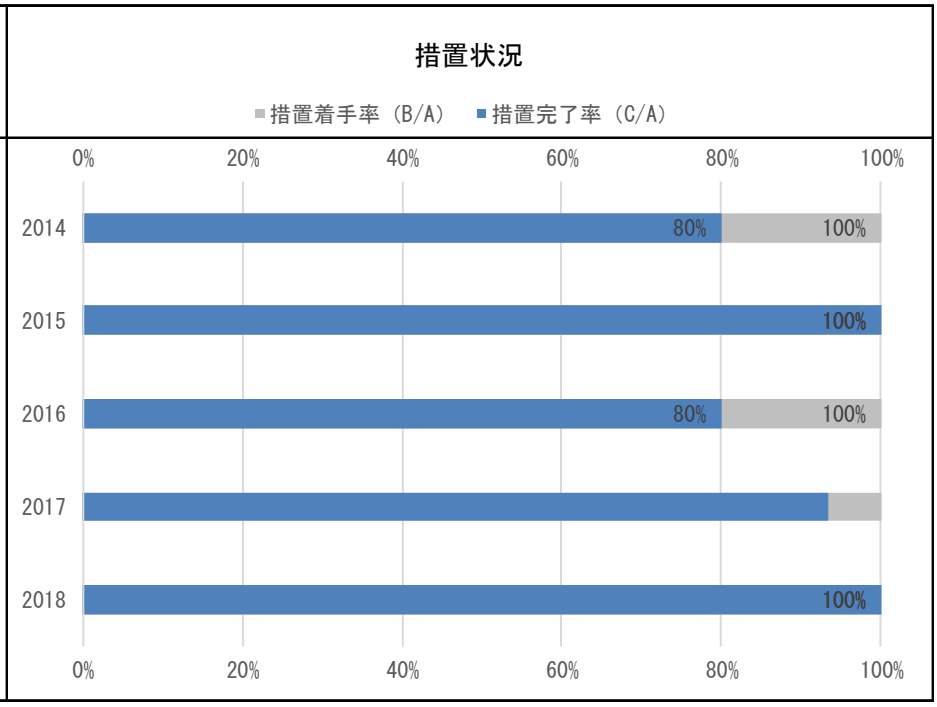
◆管内道路附属物等の修繕等措置実施状況

◆横断歩道橋

1巡目（2014年度～2018年度）の点検で早期に措置を講ずべき状態（Ⅲ判定）と判定された横断歩道橋のうち、2025年度末時点で修繕等の措置に着手した割合は100%、措置が完了した割合は92%です。
2巡目（2019年度～2023年度）の点検で早期に措置を講ずべき状態（Ⅲ判定）と判定された横断歩道橋のうち、2025年度末時点で修繕等の措置に着手した割合は86%、措置が完了した割合は54%です。

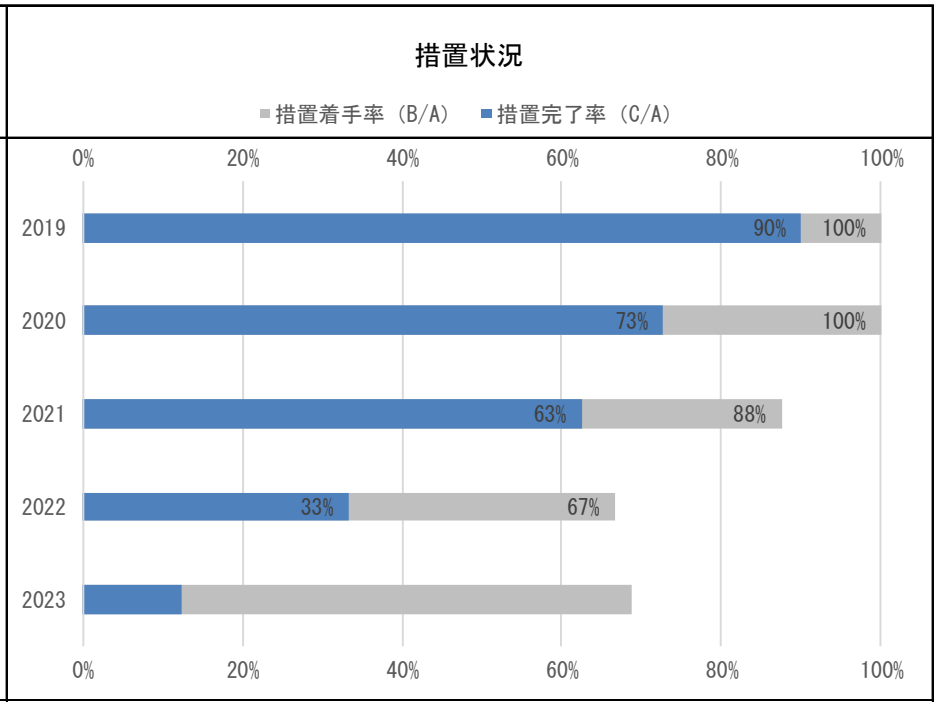
○1巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

対象施設数 A	着手済み施設数 B	完了済み施設数 C
59	59（100%）	54（92%）



○2巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

対象施設数	着手済み施設数	完了済み施設数
65	56（86%）	35（54%）



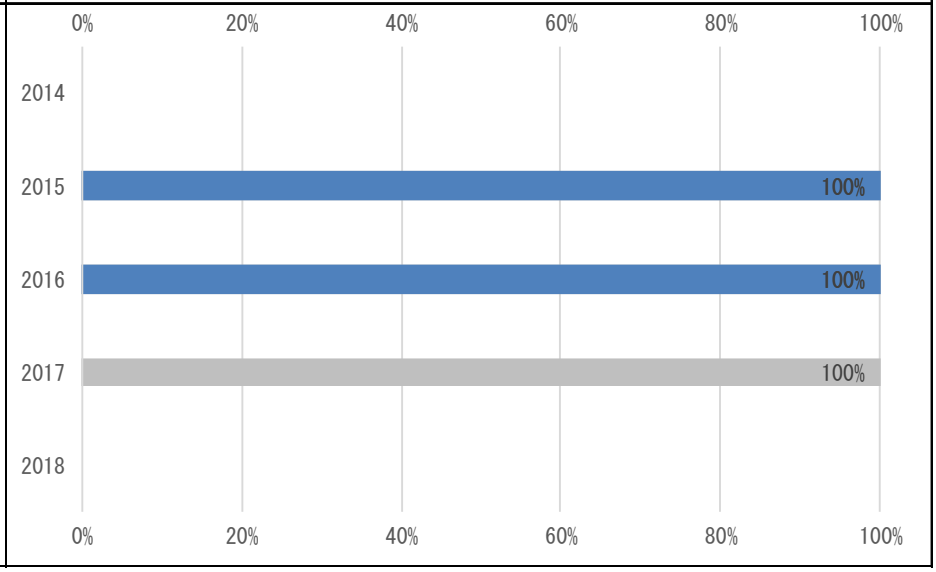
7. 管内の修繕等措置実施状況

◆管内道路附属物等の修繕等措置実施状況

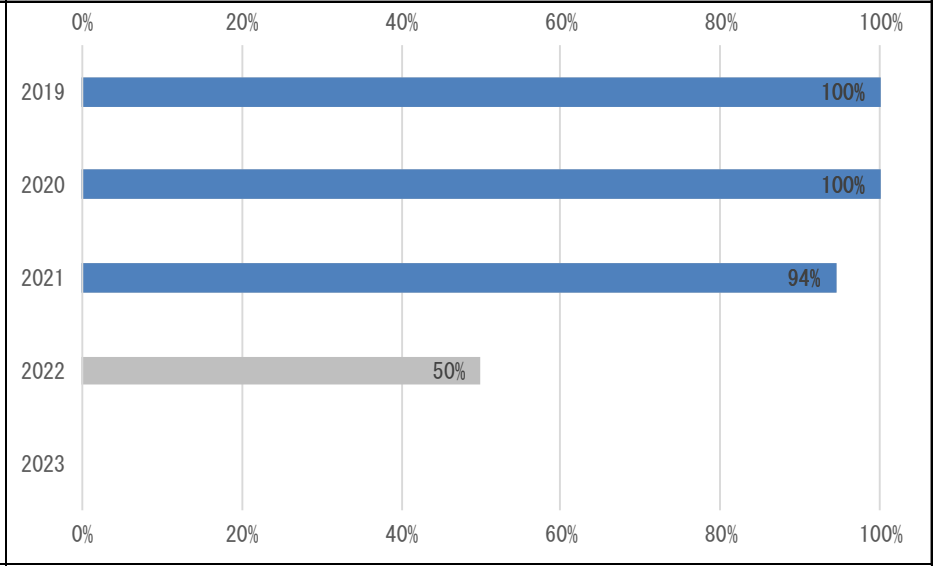
◆門型標識等

1巡目（2014年度～2018年度）の点検で早期に措置を講ずべき状態（Ⅲ判定）と判定された門型標識等のうち、2025年度末時点で修繕等の措置に着手した割合は100%、措置が完了した割合は92%です。
2巡目（2019年度～2023年度）の点検で早期に措置を講ずべき状態（Ⅲ判定）と判定された門型標識等のうち、2025年度末時点で修繕等の措置に着手した割合は74%、措置が完了した割合は70%です。

○1巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

対象施設数 A	着手済み施設数 B	完了済み施設数 C	措置状況
13	13 （ 100% ）	12 （ 92% ）	

○2巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

対象施設数	着手済み施設数	完了済み施設数	措置状況
27	20 （ 74% ）	19 （ 70% ）	

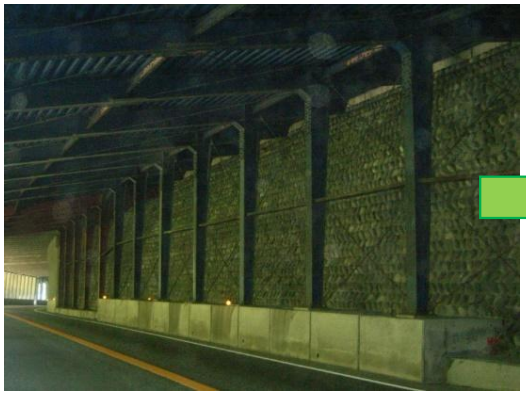
8. 具体的な補修事例

健全性の診断に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう、必要な措置を実施します。

○シェッドの補修事例

材質劣化によるコンクリートのはく落に対してはネット工を、塗装の劣化に対しては塗り替え工を施工することで、機能を維持しています。

シェッドの対策例（塗装腐食劣化の塗り替え補修）



補修前



補修後

○横断歩道橋の補修事例

腐食による塗装の剥離に対しては塗り替えを実施し、機能を維持しています。

横断歩道橋の対策例（塗装塗り替え補修）



補修前



補修後